

令和2年第1回
組合議会定例会議事録

招集日 令和2年2月17日

招集場所 クリーンプラザふじみ大会議室

ふじみ衛生組合議会

令和2年第1回 組合議会定例会議事録

招集日 令和2年2月17日(月)

招集場所 クリーンプラザふじみ大会議室

1. 出席議員(10名)

1番 井上 耕志

2番 鈴木 宗貴

3番 橋 正俊

4番 川畑 英樹

5番 大須賀 浩裕

6番 寺井 均

7番 谷口 敏也

8番 嶋崎 英治

9番 後藤 貴光

10番 吉野 和之

2. 欠席議員(0名)

3. 出席説明員

管 理 者	河 村 孝	副 管 理 者	長 友 貴 樹
参 与	馬 男 木 賢 一	参 与	伊 藤 栄 敏
総 務 主 幹	田 口 智 英	総 務 主 幹	岩 本 宏 樹
清 掃 主 幹	岩 崎 好 高	清 掃 主 幹	丸 山 義 治
人 事 主 幹	近 藤 さ や か	文 書 主 幹	一 條 義 治
財 務 主 幹	石 坂 和 也	契 約 ・ 検 査 主 幹	富 永 幹 雄
会 計 管 理 者 ・ 出 納 主 幹	井 上 忍	監 査 長	荒 川 浩 一
事 務 局 長	荻 原 正 樹	事 務 局 次 長	上 野 洋 樹
総 務 課 長	宮 崎 治	施 設 課 長	岡 田 賢 一 郎
施 設 課 長 補 佐	星 野 巖 雄		

午前9時56分開会

○議長（鈴木宗貴君） おはようございます。定刻前ですが、おそろいになりましたので始めさせていただきたいと思います。

これより令和2年第1回ふじみ衛生組合議会定例会を開会いたします。

直ちに、本日の会議を開きます。

日程第1 会期の決定

○議長（鈴木宗貴君） 日程第1、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。会期は本日1日といたします。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鈴木宗貴君） ご異議なしと認めます。よって、会期は本日1日とすることに決定いたしました。

日程第2 会議録署名議員の指名

○議長（鈴木宗貴君） 続きまして、日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第36条の規定により、1番井上耕志議員及び6番寺井均議員を指名いたします。

日程第3 管理者報告

○議長（鈴木宗貴君） 日程第3、管理者報告に入ります。

それでは、河村管理者、お願いいたします。

河村管理者。

○管理者（河村孝君） 皆さん、おはようございます。立春から半年経ちまして、春の気配が少しずつありますが感じられるようになってきた今日このごろでございます。ただ、ニュース等でご心配のように、新型コロナウイルスが日本に上陸して、本格的な広がりを見せるか、見せないか、ここからが日本国としても、また、各自治体にとっても大きな正念場になるというふうに思っています。幸いなことに、調布市さんにおかれましても、三鷹市におかれましても、現在のところ、そういう患者が発生した等の情報は全くございません。これからしっかりと落ちついて、両市ともども市政にしっかりと携わっていきたいというふうに思っております。

本日は、両市の定例議会を控えまして、何かとご多用の時期でございますが、議員の皆様におかれましては、先月末の行政視察に続きまして、令和2年第1回ふじみ衛生組合議会定例会をお願い申し上げます、恐縮に存じます。

それでは、早速、報告に入らせていただきます。本日も報告申し上げます事項は7件でございます。

ご報告の第1件目は、ごみ処理実績についてでございます。

なお、重量につきましては、小数点以下を四捨五入してご報告させていただきますので、ご了承をお願いいたします。

初めに、資料1をご覧ください。クリーンプラザふじみの令和元年10月から12月までの処理実績でございます。この3カ月間の総搬入量は1万9,215トンでございます。前年度と比較いたしますと351トン、1.9%の増となっております。

その内訳といたしましては、三鷹市が7,521トンで構成比44.4%、前年度比68トン、0.9%の増、調布市が9,401トンで構成比55.6%、前年度比611トン、7.0%の増となっております。また、リサイクルセンターにおける処理後の可燃性残渣の搬入につきましては1,621トンで、前年度比242トン、13.0%の減となっております。そのほか、小金井市の広域支援では672トンを受け入れました。

続きまして、資料3をご覧ください。リサイクルセンターの令和元年10月から12月までの処理実績でございます。この3カ月間の総搬入量は4,449トンでございます。前年度と比較いたしますと78トン、1.7%の減となっております。

その内訳といたしましては、三鷹市が2,152トンで構成比48.4%、前年度比100トン、4.4%の減、調布市が2,297トンで構成比51.6%、前年度比21トン、0.9%の増となっております。

続きまして、ご報告の第2件目は、視察・見学の状況についてでございます。

資料8をご覧ください。クリーンプラザふじみの平成31年4月から令和元年12月まで9カ月間の視察・見学者数でございます。総来場者数は85団体、6,280人で、前年度と比べまして4団体、610人の減となりました。これは、天候の影響もあり、ふじみまつりの来場者が昨年度に比べ少なかったことが主な要因でございます。

また、表の欄外にありますように、稼働7年目を迎えましても、これまでの国際貢献の取り組みが評価され、アジア・アフリカ諸国を中心に、28カ国から多数の見学者が来場されました。

ご報告の第3件目は、ふじみまつりについてでございます。

昨年11月24日、第7回ふじみまつりを開催いたしました。前日まで雨が降り、開催が危ぶまれましたが、当日の9時には雨も上がり、2,534人の皆様にご参加をいただきました。

地元協議会委員と職員による実行委員会に加え、三鷹市、調布市、そしてふじみ衛生組合が協働して、運営に取り組んでまいりました。

今回も多くのお客様の参加があり、無事故で盛況のうちに実施することができました。

組合議員のみならず、両市議会の議員の皆様におかれましても、お忙しい中お立ち寄りくださいました。この場をお借りしまして、お礼申し上げます。

ご報告の第4件目は、地元協議会についてでございます。

地元協議会については、昨年12月9日に第64回、2月12日に第65回の地元協議会をそれぞれ開催いたしました。

リサイクルセンター整備基本構想（案）についてご意見を伺うとともに、台風19号による宮城県内の災害廃棄物の受け入れについて協議を行いました。

リサイクルセンター整備基本構想（案）については、災害時にも対応が可能であり、一時避難場所として活用できるような施設にしてほしいとの意見や、経費がかかる事業であり、さらに経費が低減できる方法も考えてほしいなどの意見がございました。

また、宮城県内の災害廃棄物の受け入れにつきましては、困ったときはお互いさまであり、積極的に受け入れるべきであるとのご意見でした。

次回の会議につきましては、5月18日に第66回の地元協議会の開催を予定しております。

ご報告の第5件目は、リサイクルセンター更新検討についてでございます。

資料9-1をご覧ください。リサイクルセンター整備基本構想（案）に対するパブリックコメントを令和元年12月20日から令和2年1月20日まで実施いたしました。いただいたご意見は、2名から14件でございました。いただきました貴重なご意見は、基本計画の策定など今後の施設整備の検討に当たり参考にさせていただきたいと考えています。

裏面をご覧ください。このたびいただきましたご意見を踏まえ、リサイクルセンター施設整備基本構想（案）を修正いたしました。修正後のリサイクルセンター整備基本構想（案）を資料9-2として添付させていただきましたので、ご覧いただければと存じます。

ご報告の第6件目は、大崎市の災害ごみ受け入れについてでございます。

資料10をご覧ください。令和元年12月24日に宮城県知事から東京都知事に対して、台風19号により生じた大崎市内の災害廃棄物の処理について協力要請がありました。これを受けて東京都知事から、市長会会長、区長会会長、町村会会長に対して令和2年1月6日に協力依頼がありました。

1月27日に開催された市長会において支援を行うことが決定いたしましたので、ふじみ衛生組合といたしましても受け入れを行うものでございます。東京都全体で約4,000トンの受け入れを予定しています。東京二十三区清掃一部事務組合、多摩地域でそれぞれ約2,000トンを受け入れる予定です。

多摩地域では、10工場が受け入れる予定で、ふじみ衛生組合では3月16日から3月31日までを予定しています。

なお、多摩地域の工場では、1日あたり4トン2台を受け入れ、1団体2週間でローテーションすることとし、12月末までには受け入れを終了する予定でございます。

したがって、来年度には2回目の受け入れが想定されます。今後も適切な情報提供に努めてまいります。

ご報告の7件目は、三鷹市小学生囲碁大会についてでございます。

資料11をご覧ください。令和2年3月7日にクリーンプラザふじみにおいて、三鷹市小学生囲碁大会が開催されます。今回の大会は、クリーンプラザふじみで開催されることもあり、地元協議会、市民交流委員の働きかけにより、調布市の小学生も参加できる大会となりました。クリーンプラザふじみを、単に両市のごみを処理するだけでなく、両市の市民の方の交流の場として活用していただけることは大変有意義であると思っております。

今後もふじみ衛生組合の施設を両市市民の交流の場として活用していただけるよう努めてまいります。

私からのご報告は以上でございます。

なお、ごみ処理実績につきまして事務局長より補足説明させていただきますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

○議長（鈴木宗貴君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） おはようございます。管理者報告のうち、ごみ処理実績について補足報告をさせていただきます。

資料1をご覧ください。クリーンプラザふじみの令和元年10月から12月までの3カ

月間の状況でございます。

搬入実績につきましては、前年度と比較いたしまして、総量で1.9%の増となりました。その内訳ですが、1の委託収集いわゆる家庭系ごみにつきましては、三鷹市、調布市とも微増となりました。2の直営・粗大ごみにつきましては、調布市が249トン、118.2%の増となっています。これは、災害関連ごみの受け入れによるものでございます。また、3の持ち込みに区分される事業系ごみにつきましては、調布市が238トン、13.8%の増となっておりますが、ラグビーワールドカップの開催が影響しているのではないかと推測しています。

また、下段のふじみ衛生組合リサイクルセンターの可燃性残渣の減につきましては、容器包装リサイクル法ルートによるリサイクルが順調に進んだことによるものでございます。

一方、この3カ月間で1万4,293トンを焼却処理し、熱回収による発電では、電力事業者に4,821メガワットアワーを8,611万円余で売却いたしました。

また、処理に伴う焼却灰等1,651トンにつきましては、エコセメント化施設等に搬出いたしました。

続きまして、資料2をご覧ください。クリーンプラザふじみの平成31年1月から令和元年12月までの1年間の状況でございます。

この1年間の総搬入量は7万4,675トンでございまして、前年と比較いたしますと2,274トン、3.1%の増となっています。

その内訳といたしましては、三鷹市が2万9,195トンで構成比45.3%、前年比844トン、3.0%の増、調布市が3万5,279トンで構成比54.7%、前年比1,522トン、4.5%の増となっています。また、リサイクルセンターにおける処理後の可燃性残渣の搬入につきましては7,014トン、前年比97トン、1.4%の減となっています。そのほか、小金井市の広域支援では3,187トンを受け入れました。

内訳を見てもみますと、調布市の直営・粗大ごみが増、並びに三鷹市及び調布市の持ち込みごみが増となっておりますが、これは第3四半期と同様の理由によるものでございます。

また、この1年間の焼却処理量は7万2,234トンで前年比334トンの減となりました。

次に、資料3をご覧ください。リサイクルセンターの令和元年10月から12月までの3カ月間の状況でございます。

1の搬入実績につきましては、全体では微減傾向となっています。

内訳を見てもみますと、調布市の不燃ごみが97トン、11.4%の増となっていますが、これは、災害関連ごみを受け入れたこと及び年末の土曜日に市内全域において特別収集を実施したことによるものでございます。

また、三鷹市のプラスチックが55トン、6.0%の減、調布市のプラスチックが77トン、7.1%の減となっていますが、これは、汚れたプラスチックは可燃ごみという収集変更によるものと考えております。

次に、2の搬出実績でございます。搬出実績につきましては、まず左側の有償・無償の資源物から申し上げます。

総量は前年度と比べ126トン、5.5%の増となっています。この主な要因は、14番の容リ・プラスチックが203トンの増になったことによるものでございます。また、16番の小型家電につきましては、本年度から処理費用を支払う逆有償となりましたので皆減となっています。その他の増減につきましては、搬出時期等によるものと捉えております。

次に、右側の逆有償の資源物等搬出の欄をご覧ください。前期同様、水銀を含む有害廃棄物、廃消火器などの処理困難物及び小型家電につきましては逆有償での処分となっています。また、プラスチック類を含む可燃性残渣1,621トンにつきましては、全量をクリーンプラザふじみにおいて焼却処理し熱回収いたしました。

続きまして、資料4をご覧ください。リサイクルセンターの平成31年1月から令和元年12月までの1年間の状況でございます。

1の搬入実績につきましては、受入日数が1日少なかったこともあり、総量では256トン、1.4%の減となりました。

内訳を見てもみますと、調布市の粗大ごみが76トン、22.1%の増となっていますが、これは、調布市クリーンセンターが二枚橋跡地に移転した際、たまっていた粗大ごみを大型車両で搬入したことによる影響ではないかと推測しているところでございます。

また、調布市の不燃ごみが増、並びに三鷹市及び調布市のプラスチックが減となっておりますが、これは第3四半期と同様の理由によるものでございます。

次に、2の搬出実績につきましては、まず左側の有償・無償の資源物から申し上げます。

総量は前年に比べ215トン、2.2%の減となっています。この要因ですが、14番の容リ・プラスチックが容器包装リサイクル法ルートによるリサイクルが順調に進んだことにより117トンの増になった一方で、16番の小型家電が平成31年4月から処理費

用を支払う逆有償となり、338トンの減となったことによるものでございます。

次に、右側の逆有償の資源物搬出の欄をご覧ください。水銀を含む有害廃棄物ですが、ほぼ前年どおりの搬出となっています。処理困難物につきましては、廃消火器等でございまして、増要因は搬出時期によるものでございます。

また、小型家電につきましては、平成31年4月から逆有償となり、皆増となっています。

なお、リサイクルセンターの可燃性残渣につきましては7,014トンで前年比97トン、1.4%の減となり、全量をクリーンプラザふじみにおいて焼却処理し熱回収いたしました。

続きまして、有価物品等の価格の推移でございます。

資料の5をご覧ください。令和元年第4回定例会以降の状況についてご説明申し上げます。

B鉄を除く鉄類及びアルミにつきましては、本年1月以降の売却単価の入札を実施いたしました。その結果、特A鉄及びA鉄につきましては1,300円、6.7%上昇いたしました。アルミにつきましては、特アルミが7,950円、6.9%上昇した一方で、アルミは6,400円、11.6%下落いたしました。

新型コロナウイルスの影響もあり、直近では、鉄類も下落傾向に転じており厳しい状況でございますが、当初予算の歳入5,361万円余は確保できる見込みでございます。

今後も、できる限り有利な価格で売却できるよう努めてまいります。

続きまして、資料6をご覧ください。台風19号による災害関連ごみの受け入れ状況でございます。

令和元年10月15日から12月27日まで、調布市から255.50トン、三鷹市から1.23トン、合わせて256.73トンの災害関連ごみを受け入れました。前回の定例会以降、新たに調布市から32.22トン、三鷹市から0.78トン、合わせて33トンを受け入れいたしました。

なお、1月以降の搬入はございませんので、今回の報告をもって確定量と考えているところでございます。

続きまして、資料7をご覧ください。広域支援による小金井市の可燃ごみの受け入れについてでございます。

小金井市の可燃ごみにつきましては、多摩地域ごみ処理広域支援体制実施協定に基づき

まして、平成29年度から3,500トンを上限として受け入れを行っているところがございます。このたび、小金井市の可燃ごみを処理する浅川清流環境組合の可燃ごみ処理施設の試運転が始まりましたことから、小金井市の可燃ごみにつきましては、12月17日をもちまして受け入れを終了いたしました。

契約期間は本年3月末までとなっておりますが、試運転でトラブルが発生しなければ、今後、搬入の予定はございません。

この間、地元の皆様をはじめ、市民の皆様にはご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

私からの報告は、以上でございます。

○議長（鈴木宗貴君） 管理者からの報告は以上でございます。

ただいまの管理者の報告につきまして、質疑のある方は挙手をお願いいたします。

嶋崎議員。

○8番（嶋崎英治君） 大崎市の受け入れなんですけど、これは資料10の一番最後のページに受入方法がJR貨物による鉄道輸送となっているんですけど、どこの駅にここで処理するものは着くのか。それで、その前ですと、車の場合4トン2台になっていますね。どこの車がどこへ、どういうふうにとりに行くのかということをお教えください。

○議長（鈴木宗貴君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） まず、JR貨物の関係でございますが、宮城県の仙台駅を出発いたしまして、東京都の隅田川駅に貨物専用駅がございますけれども、そこに到着いたします。そこで、コンテナをトラックに移しかえまして、トラックで各清掃工場に運ぶものでございます。

そのトラックの容量でございますけれども、最大で4.8トンを持ち込むことができますが、超過してしまいますと乗せることができませんので、おおむね4トンを見込んでおりまして、それを各清掃工場に1日2台ずつ運ぶという予定になっております。

以上でございます。

○議長（鈴木宗貴君） 嶋崎議員。

○8番（嶋崎英治君） そうすると、その車というのは東京都の車になるのでしょうか。このふじみの車になるのでしょうか。

○議長（鈴木宗貴君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） これは、大崎市さんのほうで契約した車でございまして、

民間の貨物車で、行政側の車ではございません。

それから、もう1点補足させていただきますと、今回のコンテナですけれども、川崎市さんで使用しているコンテナを借用しておりますので、コンテナの表側には川崎市専用という文字が入っております。

以上でございます。

○議長（鈴木宗貴君） 嶋崎議員、よろしいですか。

ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○議長（鈴木宗貴君） 以上で質疑を打ち切ります。

以上7件は、報告のとおりご了承をお願いしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鈴木宗貴君） ご異議なしと認め、管理者報告のご了承をお願いいたします。

日程第4 議案第1号 ふじみ衛生組合一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分について

○議長（鈴木宗貴君） 続きまして日程第4、議案第1号、ふじみ衛生組合一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分についてを議題といたします。

事務局に議案の朗読をさせます。

上野事務局次長。

（事務局朗読）

○議長（鈴木宗貴君） 朗読は終わりました。

続いて、管理者から、提案理由の説明を求めます。

河村管理者。

○管理者（河村孝君） 議案第1号、ふじみ衛生組合一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

当組合職員の給与の改正につきましては、従来から三鷹市に準じて実施してきたところでございますが、三鷹市職員の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例が三鷹市議会におきまして令和元年12月6日に可決され、公布の日等から施行されました。

これに伴いまして、当組合の給与に関する条例を改正する必要が生じましたが、議会を招集する時間的な余裕がないことが明らかでございますので、地方自治法第292条において準用する同法第179条第1項の規定に基づきまして、当該条例を令和元年12月12日付で専決処分いたしました。

改定の内容でございますが、勤勉手当の支給率について、100分の100を100分の102.5、課長職職員は100分の120を100分の122.5、部長職職員は100分の130を100分の132.5などに改めるもので、令和元年12月1日から適用いたしました。

提案理由の説明は、以上のとおりでございます。どうぞよろしくご審議のほどお願いいたします。

○議長（鈴木宗貴君） これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（鈴木宗貴君） 以上で質疑を打ち切り、討論を省略して採決したいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（鈴木宗貴君） ご異議なしと認め、これより採決いたします。議案第1号、ふじみ衛生組合一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の専決処分について、原案のとおり承認することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（鈴木宗貴君） ありがとうございます。満場一致と認めます。よって、本案は原案のとおり承認されました。

日程第5 議案第2号 令和元年度ふじみ衛生組合補正予算（第2号）

○議長（鈴木宗貴君） 続きまして日程第5、議案第2号、令和元年度ふじみ衛生組合補正予算（第2号）を議題といたします。

事務局に議案の朗読をさせます。

上野事務局次長。

（事務局朗読）

○議長（鈴木宗貴君） 朗読は終わりました。

続いて、管理者から提案理由の説明を求めます。

河村管理者。

○管理者（河村孝君） 議案第2号、令和元年度ふじみ衛生組合補正予算（第2号）につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

補正予算（第2号）の概要でございますが、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4,300万円増額し、総額を18億7,811万3,000円とするものでございます。

その内訳は、歳入において可燃ごみ処理施設売電収入の増が見込まれるため、諸収入を4,300万円増額するとともに、歳出におきまして、事業費の売電収入相当額委託料を増額するものです。また、繰越金を1億7,426万8,000円増額し、分担金及び負担金において同額を減額するものでございます。

提案理由の説明は、以上のとおりでございます。どうぞよろしくご審議のほどお願い申し上げます。

○議長（鈴木宗貴君） これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

嶋崎議員。

○8番（嶋崎英治君） 調布市、三鷹市、構成市の分担金の減額ということなんですが、こうした減額補正は今後も続くというふうに見てよろしいのでしょうか。

○議長（鈴木宗貴君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 基本的にふじみ衛生組合では、繰越金につきましては、補正を組みまして両市にお返しするという方法をとってきましたので、この方法を踏襲するという事になれば、今後も引き続き両市のほうにお返しをするというふうなことになるかと思えます。

○議長（鈴木宗貴君） 嶋崎議員。

○8番（嶋崎英治君） そうすると、その額も大体このような数字になっていくのか、増えていくのか、あるいは減っていくのかということです。

○議長（鈴木宗貴君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 金額でございますけれども、例年、各市、数千万円、両市を合わせまして1億数千万円という数字が続いておりますので、このような金額になろうかなというふうには考えているところでございます。

○議長（鈴木宗貴君） 嶋崎議員、よろしいですか。

○8番（嶋崎英治君） はい。

○議長（鈴木宗貴君） ほかにございますか。

（「なし」の声あり）

○議長（鈴木宗貴君） 以上で質疑を打ち切ります。

これより討論に入りますが、討論はありませんか。

嶋崎議員。

○8番（嶋崎英治君） 今、答弁いただいたように、今後もうこうした1億数千万円が続くということでもあります。

今回は賛成をいたしますが、資料9-2のリサイクルセンター整備基本構想（案）で、建設費で両案でも70億かかるというふうになっていて、国庫負担が全額来るわけではなくというふうに思うんです。そうしたことを考えると、それに備えるような状況というんでしょうか、この70億の新建設費がありますよね、これで国庫負担というのはどのくらい見込めるんでしょうか。

○議長（鈴木宗貴君） 討論です。

○8番（嶋崎英治君） 失礼しました。全額はないと思うんですね。国庫負担が80%が対象ということで、56億円、国が3分の1負担ということですから、あとはこちらのほうで負担をしていくということになると思うんです。

それから、私は前々から申し上げていますがけれども、これから何が起こるかわからないという事態がありますから、単に両市に返すという、分賦金を減らすということではなくて、このふじみ衛生組合に基金を設けてやっていただきたいと、こういうことを申し上げて、賛成といたします。

○議長（鈴木宗貴君） ほか、大丈夫ですか。

（「なし」の声あり）

○議長（鈴木宗貴君） 以上で討論を打ち切ります。

これより採決いたします。議案第2号、令和元年度ふじみ衛生組合補正予算（第2号）について、原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（鈴木宗貴君） ありがとうございます。満場一致と認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

○議長（鈴木宗貴君）　　続きまして日程第6、議案第3号、令和2年度ふじみ衛生組合予算を議題といたします。

事務局に議案を朗読させます。

上野事務局次長。

（事務局朗読）

○議長（鈴木宗貴君）　　朗読は終わりました。

続いて、管理者から提案理由の説明を求めます。

河村管理者。

○管理者（河村孝君）　　議案第3号、令和2年度ふじみ衛生組合予算につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

ふじみ衛生組合の取り組みは、構成市である三鷹市、調布市の両市民の可燃ごみ、不燃ごみ及び資源物の適正な処理により、皆様が安全・安心に生活していただくために欠かすことのできない事業です。

また、その運営は、地元市民の皆様をはじめとする市民の皆様のご理解に基づき、地域の環境を損ねることなく、適切に行われなければなりません。

そして、この目的を達成するためのふじみ衛生組合が経営するごみ処理場の運営経費は、その大半が組織市の分担金で賄われておりますが、両市の行財政を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況でございます。

そこで、この厳しい状況を認識して、ふじみ衛生組合の令和2年度の予算編成に当たりましては、歳入の効果的、積極的な確保を図りながら、運営経費のさらなる抑制に努め、組織市の健全な財政運営に資するとともに、安全で安定した施設運営に努め、循環型社会形成に向けた重要な役割を發揮できるように、創意工夫に努めたところでございます。

このような方針のもと、予算編成に取り組みました結果、令和2年度の歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ19億2,739万8,000円で、前年度と比較いたしますと9,228万5,000円、約5.0%の増となっております。

なお、各款項別の予算の内容につきましては、事務局長から詳細な説明をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

提案理由の説明は、以上のとおりでございます。どうぞよろしくご審議のほどお願いいたします。

○議長（鈴木宗貴君）　　荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 議案第3号、令和2年度ふじみ衛生組合予算の詳細につきまして、ふじみ衛生組合予算及び同説明書に沿ってご説明させていただきます。

初めに、1ページをお開きください。令和2年度予算の構成につきましては、第1条、歳入歳出予算及び第2条、債務負担行為となっています。

2、3ページをお開きください。第1表、歳入歳出予算でございます。款、項に区分した歳入歳出予算の内訳でございます。歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ19億2,739万8,000円で、前年度比9,228万5,000円の増となっています。その詳細につきましては、6ページ以降の事項別明細書によりまして、順次ご説明をいたします。

4ページをお願いいたします。第2表、債務負担行為でございます。

スプレー缶・ライター処理機につきましては、現在、平成25年7月から7年間の賃貸借契約を締結しておりますが、令和2年6月をもって契約期間が終了いたしますので、新たに7年間の賃貸借契約を締結するため、令和3年度から令和9年度まで支出額2,516万3,000円を限度とする債務負担行為を設定するものでございます。

廃棄物情報管理システム等使用料につきましては、ごみの重量を計量し、資料の作成や廃棄物処理手数料の納付書を作成するシステムの使用料でございます。現在、平成25年度から8年間の賃貸借契約を締結しており、令和2年度末をもって契約期間が終了いたします。新たな賃貸借期間は令和3年度からとなりますが、システム構築に時間がかかることから、令和2年度中に契約する必要がございます。このようなことから、新たに8年間の賃貸借契約を締結するため、令和3年度から令和10年度まで支出額1億987万9,000円を限度とする債務負担行為を設定するものでございます。

続きまして、6、7ページ、歳入歳出予算事項別明細書の総括をご覧ください。

まず左側6ページ、歳入でございます。

1の分担金及び負担金につきましては、両市からの分賦金でございまして、前年度に比べ1億5,786万円の増となっております。これは、歳出総額が前年度比9,200万円余の増額となったこと、及び諸収入において小金井市の広域支援が終了し、受託収入が見込めないことなどによるものでございます。

2の使用料及び手数料につきましては、廃棄物処理手数料及び組合用地使用料でございます。

3の国庫支出金につきましては、放射能測定経費に係る国の補助金でございます。

4の繰越金につきましては、前年度と同額の2,000万円を計上しております。

5の諸収入につきましては、有価物の売却収入や売電収入などがございます。

右側、7ページが歳出でございます。その特徴を2点申し上げます。

第1に、リサイクルセンターの更新につきまして、前年度に引き続き、三鷹市、調布市と連携して取り組んでまいります。このため、職員ワーキングチームでの検討とともに、不燃ごみ処理施設整備検討業務委託料を予算措置いたしました。

第2に、オリンピック・パラリンピックを見据えた予算計上でございます。令和2年度は、オリンピック・パラリンピックが開催され、競技会場として、東京スタジアムや武蔵野の森総合スポーツプラザが使用されます。会場から排出される事業系一般廃棄物につきましては、クリーンプラザふじみに搬入されますので、売電収入相当額委託料を増額するなど必要経費を計上いたしました。

このようなことから、事業費が9,000万円余の増額となる歳出予算となっております。

それでは、詳細の説明に移らせていただきます。

初めに、歳入でございます。

8、9ページをご覧ください。分担金及び負担金でございます。

令和2年度の分賦金の総額は9億6,184万9,000円でございます。そのうち三鷹市の分賦金につきましては4億6,522万9,000円でございます。

次に、11ページをご覧ください。調布市の分賦金につきましては4億9,662万円でございます。

続きまして、12、13ページをご覧ください。使用料及び手数料でございます。

廃棄物処理手数料につきましては、オリンピック・パラリンピック開催に伴う事業系ごみの増加を勘案し、1万2,000トンの持ち込みごみの受け入れによる4億2,000万円を見込んでおります。前年度は1万1,280トン、3億9,480万円を見込んでおりました。

総務使用料につきましては、組合用地使用料でございます。

続きまして、14、15ページをご覧ください。国庫支出金でございます。焼却灰等の放射能測定に要する経費に対する補助でございます。対象となるのは、焼却灰、飛灰、排ガスの試料採取及び分析でございます。

なお、10分の10の補助でございますが、35ページの歳出が歳入の額を8万円上回

っています。これは、補助対象とならない排水につきましても、地元とのお約束で測定を実施するためでございます。

続きまして、16、17ページをご覧ください。繰越金でございます。前年度と同額の2,000万円の計上でございます。

続きまして、18、19ページをご覧ください。諸収入でございます。

初めに、預金利子でございます。1万円を見込んでおります。

次に、雑入でございます。右側説明欄をご覧ください。1、有価物売払収入でございます。資源市場が低迷していることから、処理量は平成30年度実績、単価は直近の売却実績の60%で見込みました。その結果、前年度に比べ1,927万5,000円の減、3,433万8,000円の計上となりました。

2、その他雑入でございますが、可燃ごみ処理施設売電収入につきましては、焼却量の増を見込み、前年度に比べ4,014万円増の4億6,062万9,000円を計上いたしました。三鷹中央防災公園・元気創造プラザへの温水供給収入につきましては、実績を勘案し、前年度と同額の250万円を見込み、35ページの歳出にも同額を計上いたしました。

なお、小金井市搬入ごみ受託収入がなくなりましたことから、雑入といたしましては、前年度に比べ9,060万円の減額となっております。

歳入につきましては、以上でございます。

引き続き、歳出でございます。20、21ページをお開きください。

初めに、第1款、議会費でございます。前年度とほぼ同様の計上となりましたが、実績等を勘案し、1万5,000円の増額となっております。

続きまして、22、23ページをご覧ください。

第2款、総務費でございます。前年度と比べ139万円の増額となっております。

目1、一般管理費につきましては、主に組合運営に係る経費でございまして、前年度と比べ387万3,000円の増額となっております。その主な要因を申し上げますと、人件費が170万円余の減となった一方で、25ページ中ほどでございますが、5年ごとに改定を行う地球温暖化対策実行計画策定委託料144万円、公用車の購入費259万8,000円を計上したことによるものでございます。

続きまして、26、27ページをご覧ください。

目2、環境学習・地域交流推進費は、施設見学等の環境学習及びイベントに要する経費

でございます。前年度と比べ248万3,000円の減額となっています。この主な要因は、実績を勘案し、人件費を減額したほか、前年度計上した社会科見学DVD作成委託料143万円の計上がないことによるものでございます。

続きまして、28、29ページをご覧ください。

第3款、事業費でございます。総額につきましては、前年度と比べ、9,088万2,000円の増額となりました。

目1、ごみ処理場管理費につきましては、施設課職員人件費のほか、リサイクルセンター、クリーンプラザふじみ共通の管理経費でございます。前年度と比べ736万円の減額となっています。この主な要因は、実績を勘案し、人件費を減額したことによるものでございます。その他の経費につきましては、多少の増減はございますが、例年と同様の予算計上となっています。

続きまして、30、31ページをご覧ください。目2、リサイクルセンター運営費でございます。前年度と比べ272万1,000円の減額となっています。

これは、委託料が1,400万円余増額となった一方で、工事請負費が1,800万円余減額となったことによるものでございます。

まず、先ほどご説明いたしましたリサイクルセンターの更新検討に関する経費でございますが、31ページ説明欄の下から4項目め、不燃ごみ処理施設整備検討業務委託料700万円を計上いたしました。

続きまして、33ページをご覧ください。説明欄の上から6項目め、集塵脱臭設備活性炭交換業務につきましては、2年に1回実施するもので、435万6,000円を計上いたしました。

また、説明欄の上から9項目め、廃小型家電再資源化業務委託料につきましては、処理単価の上昇を見込み、前年度と比べ762万7,000円増額し、2,970万円を計上いたしました。

次に、工事請負費につきましては、前年度に予算計上した永磁プーリー設置工事が終了することから、一般補修工事費1,100万円のみとなり、前年度に比べ1,800万円余の減額となったものでございます。

続きまして、34、35ページをご覧ください。

目3、クリーンプラザふじみ運営費でございます。前年度に比べ、1億96万3,000円の増額となっています。これは、委託料が1億円余増額となったことによる

ものでございます。

35ページ説明欄、1、維持管理運営費の上から4項目め、施設運営業務委託料につきましては、20年間の長期契約に基づく本年度分の支出額2億8,846万8,000円でございます。前年度に比べ7,127万2,000円の増額となっております。この長期契約では、機械設備の保守点検や機器の交換時期等を考慮し、各年度の経費を算出しています。令和2年度につきましては、2年ごと及び4年ごとの法定点検を実施する年であること、また、灰クレーン油圧バケットや大気質測定装置を更新する年であることから、委託料が大幅な増額となったものでございます。

また、歳入と連動する売電収入相当額委託料につきましては、先ほども申し上げましたとおり、オリンピック・パラリンピック開催に伴う事業系ごみの増加を勘案し、前年度に比べ2,904万8,000円増額し、4億4,088万1,000円を計上いたしました。

続きまして、36、37ページをご覧ください。

第4款、公債費でございます。前年度と実質同額となる2億8,647万8,000円を計上いたしました。組合債につきましては、元利均等償還ですので、元金が増額、利子が減額となっております。この償還額が令和5年度まで続く予定です。

続きまして、38、39ページをご覧ください。

第5款、予備費でございます。予備費につきましては、前年度と同額の2,000万円の計上でございます。

歳出の説明につきましては以上でございます。

続きまして、40ページをご覧ください。ここからは給与費明細書になります。

まず、40ページが特別職でございます。前年度と増減はございません。

41ページ以降は、一般職でございます。派遣職員等の給与費・共済費につきましては、職員の人事異動に伴いまして、1,330万円余の減額となっております。

また、本年度から会計年度任用職員制度が整備され、650円余の給与費・共済費を計上しています。

42ページから45ページにつきましては、それぞれの給与費の増減額の明細及び状況でございますので、ご覧いただければと存じます。

続きまして、46、47ページをお願いいたします。債務負担行為に関する調書でございます。

新ごみ処理施設整備運営事業、廃棄物情報管理システム等使用料、スプレー缶・ライター

一処理機賃借料の3事業で、令和2年度以降、37億1,400万円余の支出予定となっています。

最後に、48ページが地方債の現在高見込みに関する調書でございます。令和2年度末の地方債残高につきましては、16億9,239万円となる見込みでございます。

議案第3号、令和2年度ふじみ衛生組合予算の説明については、以上でございます。

○議長（鈴木宗貴君） それでは、これより質疑に入ります。質疑はございませんか。

嶋崎議員。

○8番（嶋崎英治君） 41ページになります。会計年度任用職員についてですが、本年度は2人というふうになっています。これは、括弧内のところにただし書きがあるんですが、フルタイム職員でしょうか、それとも短時間の人なんですか。

○議長（鈴木宗貴君） 宮崎課長。

○総務課長（宮崎治君） 会計年度任用職員につきましては、お二人について月額職員を予定しておりまして、その他数名、時間額職員を予定しているものでございます。

以上でございます。

○議長（鈴木宗貴君） 嶋崎議員。

○8番（嶋崎英治君） 月額というのはフルタイムということなんですか。それとも三十何時間とか40時間とか、そこをお伺いしたんですけれども。

○議長（鈴木宗貴君） 宮崎課長。

○総務課長（宮崎治君） いわゆるフルタイムではございませんで、短時間は短時間でありまして、正職員よりは短い時間勤務数になっておりまして、1週のうち4日を予定しております。

以上でございます。

○議長（鈴木宗貴君） 嶋崎議員、よろしいですか。

○8番（嶋崎英治君） はい。

○議長（鈴木宗貴君） ほかにございますか。

谷口議員。

○7番（谷口敏也君） 33ページの廃小型家電の業務委託料なんですけれども、先ほどの局長の報告の中でも、今年度から逆有償になったというお話だったんですが、これって私が聞いているのは、私の母校の高校でも積極的にCMの撮影場所なんかにも提供してやっているんですね。それは、オリンピックのメダルの支援にしようとかいうので、結構

大々的にPRして国のほうでもやっていたと。

ただ、今年度からそれが逆有償になっているというのはちょっと知らなかったんですけども、来年も762万7,000円プラスでこの額ということは、今年度の決算はまだ終わっていないですが、2,200万ほどかかりそうだということで、結構な負担になっていくんではないかと思うんですが、今後こういった状況が続いていくんでしょうか。

○議長（鈴木宗貴君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） まず、今年度の状況を申し上げますと、4月から6月までの3カ月間がトン当たり1万4,000円で処理経費を払っていたんですが、7月以降は4万円ということで処理経費が2倍以上に跳ね上がっているような状況でございます。この状況が来年度も続くだろうということで、予算的にはトン6万円の予算計上をしたためにこの金額になったものでございます。

やはり一つは、事業系のプラスチックが海外に輸出できないので、非常に国内での処理が大変な状況になっているということで、処理事業をする会社さんも費用を払わないとなかなかやってもらえないというような状況がございます。以前はある程度破碎するなりして海外へ輸出していたので、その輸出した収入も見込んで処理経費というのは計算されていましたが、今言ったように輸出ができないということになりますと、収入がございませんので、その収入分についてはごみを出すところから、小型家電を出すところからいただかなければいけないということが背景にございまして、処理経費が上がっているような状況でございます。おそらくこの状態があと数年は続くのではないかと推測しているところでございます。

○議長（鈴木宗貴君） 谷口議員。

○7番（谷口敏也君） これが始まったのもある意味国の政策じゃないかなと思ってるんですけども、国からの保障的なものというのは全くないんですか。

○議長（鈴木宗貴君） 荻原事務局長。

○事務局長（荻原正樹君） 国のほうはこういった法律をつくったんですが、特にそこに財政的な援助はございません。

それから、先ほど私の答弁で1点、修正させていただきます。4月から6月は1万6,000円でした。

○7番（谷口敏也君） 1万6,000円。

○事務局長（荻原正樹君） はい。失礼いたしました。

○議長（鈴木宗貴君） 谷口議員、よろしいですか。

ほかにございますか。よろしいでしょうか。

（「なし」の声あり）

○議長（鈴木宗貴君） 以上で質疑を打ち切ります。

これより討論に入ります。討論はございませんか。よろしいですか。

（「なし」の声あり）

○議長（鈴木宗貴君） 以上で討論を打ち切ります。

これより採決いたします。議案第3号、令和2年度ふじみ衛生組合予算について、原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○議長（鈴木宗貴君） ありがとうございます。満場一致と認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。それでは、これで会議を閉じます。

これにて令和2年第1回ふじみ衛生組合議会定例会を閉会いたします。本日はお疲れさまでございました。ありがとうございます。

午前11時01分閉会

以上会議の顛末を書き、その相違ない
ことを証するためここに署名する。

令和2年2月17日

ふじみ衛生組合議会議長

鈴木宗貴

ふじみ衛生組合議員1番

井上耕志

ふじみ衛生組合議員6番

寺井均